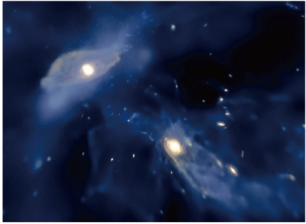


天の川銀河の誕生

銀河はどのように出来たのでしょうか。銀河系が生まれる様子を国立天文台のCG映像で分かりやすく解説します。



M-2 銀河系の動き

銀河はどのように動いているのでしょうか。銀河系の姿と動きを明らかにするために、国立天文台で進めている「VERA」プロジェクトの成果などから、銀河系の姿とその動きに迫ります。



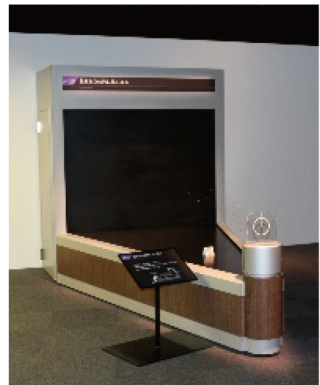
M-9 光のスペクトル

きれいな光のスペクトルで何がわかるのでしょうか。太陽のスペクトルを分析してみましょう。



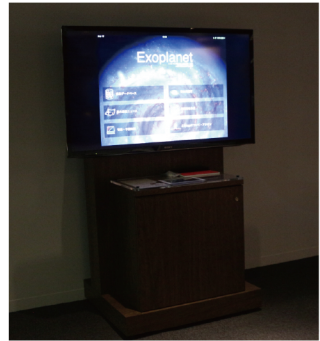
M-28 星座を立体的に見てみる

夜空の星は奥行きのない平面に並んでいるように見えます。しかし実際には、星は広い宇宙に立体的に分布し、見る方向によって星の並びが違って見えます。この装置の中央の透明プレートを通して見ると、地球から見た星座の形が見えます。この装置で、見かけの星の並びと、実際の空間での星の並びを比べてみましょう。



M-29 系外惑星

太陽以外の恒星の周囲を回る惑星のことを、系外惑星と呼びます。系外惑星の姿を大型モニターで紹介します。好きな系外惑星を見つけてみてください。



銀河系の星々

夜空で目に見えている星たちの多くは、私たちの銀河系のなかにあります。この展示物は、実際に見えている星々が、太陽からどれくらいの距離にあるのかを、2008～2017年度にお客様と一緒に、立体的に模型上に配置したものです。



M-11 スペクトルを比べてみよう

星の光は様々な色の光の集まりなので、プリズムなどを用いて色に分けることができます。こうして得られる色の分布がスペクトルです。星のスペクトルの性質は、主に星の表面温度で決まります。赤い星は表面温度が低く、黄・白・青白の順に温度が高くなります。スペクトルによって星を分類したものがスペクトル型です。



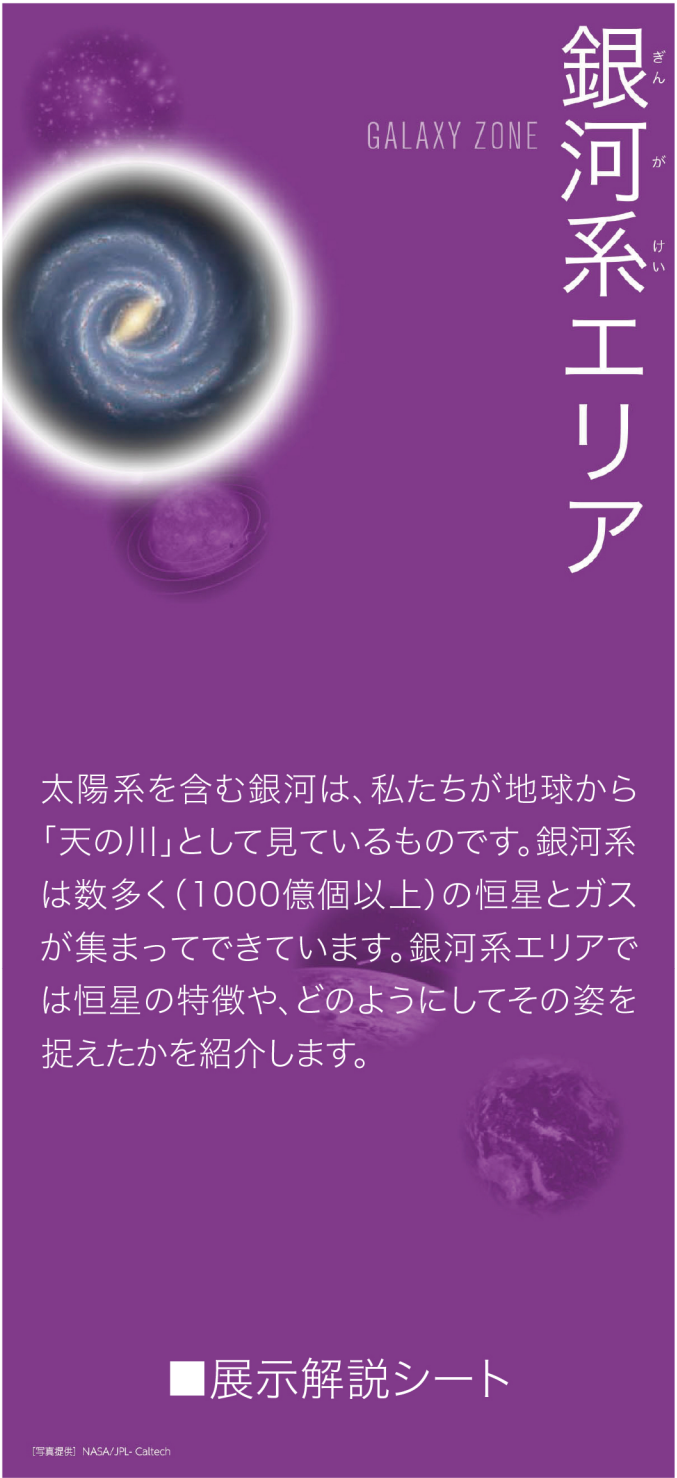
M-12 スペクトルの観察

光の性質によるスペクトルの違いを観察してみましょう。4種類の性質の違う光を、分光シートを通して見てみるとそれぞれのスペクトルが現れます。



M-17 恒星の一生

恒星は、生まれる時の質量でその一生が決まります。質量の違いによる恒星の一生の違いを見てみましょう。また周囲のパネルで、恒星の特徴などもみてください。



太陽系を含む銀河は、私たちが地球から「天の川」として見ているものです。銀河系は数多く(1000億個以上)の恒星とガスが集まってできています。銀河系エリアでは恒星の特徴や、どのようにしてその姿を捉えたかを紹介します。

■展示解説シート

